

静岡県交通基盤部森林局森林計画課外職員の視察研修を実施

平成27年7月30日・31日 参加人数：4名

木材生産を基軸としつつも、森林の多面的機能を発揮させる多様な森林づくりの推進に必要な知識・技術を研鑽することを目的とした研修の受入れを行いました。



筑波山複層林試験地では、経緯、経過等の概要説明、各試験タイプの説明と試験地内に入り、タイプ別の下木の成長状況を五感を働かせ感じ取っていました。



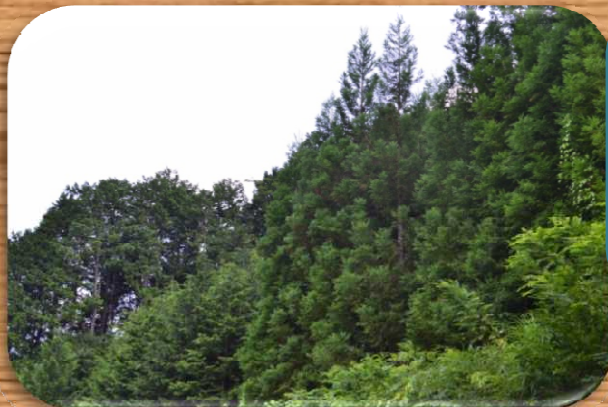
森林技術・支援センター研修室に場所を移動し、平成25・26年度に実施した「コンテナ苗を活用した一貫作業システム」の実証試験のデモンストレーションビデオを視聴及びセンターが実施している試験概要を説明しました。





大沢試験地では、水辺林の再生、針葉樹人工林への広葉樹導入試験などの概要説明を行いました。森林の多面的機能を発揮させる多様な森林づくりの推進を進めようとしている静岡県の職員の方々は熱心に説明を聞き、繰り返し質問していました。

特に、溪畔林再生のための取組には興味心身でした？



平成17年に林木育種センターが植栽した第2世代スギ検定林(エリートツリー)を視察。

植栽後5年で樹高7m、胸高直径8cmの成長をしました。
林木育種センターから



最後にコンテナ苗を活用した一貫作業システムの作業現場の視察を行いお帰りになりました。

笠間市まで視察研修においでいただきありがとうございました。また、何処かでお会いできることを楽しみにしています。

関東森林管理局 森林技術・支援センター職員一同